

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|-----------|
| 建物名称 | (仮称)伊賀屋食品工業株式会社 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 京都府綴喜郡井手町大字多賀西小 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 準工業地域、防火指定なし | 平均居住人員 | 25人 |
| 地域区分 | 5地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年 |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2016年6月 予定 | 評価の実施日 | 2016年1月6日 |
| 敷地面積 | 4,383 m ² | 作成者 | 浦田 明 |
| 建築面積 | 2,378 m ² | 確認日 | |
| 延床面積 | 4,395 m ² | 確認者 | |

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記②以外の 86%
④上記+ 86%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.4

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|--|---|
| 総合 作業動線を明確にしシンプルなレイアウト構成とした。壁面、屋根面の凹凸を無くし周囲の景観に溶け込みやすいフォルムとした。 | | その他 生産エリアにある生産機器に対し壁・天井をパネル構造とし近隣への防音対策を行う。 |
| Q1 室内環境 壁面、天井面にパネル材を使用し遮音性を高める。室温設定24度可能とし快適な作業空間とした。 | Q2 サービス性能 換気排気ダクト等にステンレス使用、設備配管に耐久性が高い材料を使用。空調設備にインバータを採用。 | Q3 室外環境(敷地内) 食品工場なので最小限の緑地施設としている。 |
| LR1 エネルギー デマンド管理を行う。 | LR2 資源・マテリアル 節水こま、自動水栓、節水器具等節水対策を行う。内装にリサイクル材を使用。主フレームが鉄骨、内装材にパネル材を使用し分別可能とした。 | LR3 敷地外環境 ゴミ置場を建物に内包した。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される